

学生の確保の見通し等を記載した書類

(九州工業大学・工学部)

目次

1. 新設組織の入学定員（編入学定員を含む。）設定の考え方及び定員を充足する見込み	2
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	2
(2) 学生確保の見通しの調査結果	5
(3) 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向	6
(4) 同分野を有する競合校の状況	9
(5) 既設組織の定員充足の状況	10
(6) 学生納付金の金額設定の理由	11
2. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	12
3. 新設組織で養成する人材の社会的要請や人材需要の動向	14
(1) 社会的、地域的な人材需要の動向	14
(2) 人材需要に関するアンケート調査	15

1. 新設組織の入学定員（編入学定員を含む。）設定の考え方及び定員を充足する見込み

（1）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

（教育研究上の理念・目的）

九州工業大学は、建学の理念「技術に堪能なる士君子の養成」を百年余に亘って継承し、社会的要請を鋭敏に教育に反映して、急激に変遷する時代が求める技術者・研究者を輩出し、我が国の産業の発展に貢献してきた。

これまで先進的な大学教育改革等において実績を上げてきており、高度産業技術者を育成する教育内容や輩出する人材は社会的に認知されている。

（人材の養成）

工学部工学科では、「ものづくり」を基盤とした工学系分野において、豊かな教養、高度なデータ処理能力、技術者倫理及びコミュニケーション力を備え、科学技術の進歩に対応できる工学基礎力・専門技術力を有し、国際的に活躍できる専門技術者を養成する。

なお、新設する数物コースでは、次のような人材を養成する。

① 知識・理解

【高度な専門知識・理解】

「ものづくり」を基盤とした科学技術分野において、高度情報社会での活躍を意識して数学分野、物理学分野、情報処理分野に立脚し、論理的な思考力のもと、自立して独創性豊かな研究・開発を行うことができる高度な学力を修得している人材。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

数学分野、物理学分野、情報処理分野が、科学技術社会や高度情報社会で果たす役割を理解している人材。

② 汎用的技能

【高度な実践的問題解決スキル】

数学力とデータ処理能力に立脚し、進展の激しい高度情報社会に関する問題を発見し、膨大な量の情報を収集・分析し、解決に向けた手法の論理的に導き出し、その手法を実践できる人材。

【高度なプレゼンテーション力】

数学、物理学、情報処理工学の知識、問題解決手法やその実施結果を、プレゼンテーションの聴衆を考慮しながら伝え、討論できる人材。

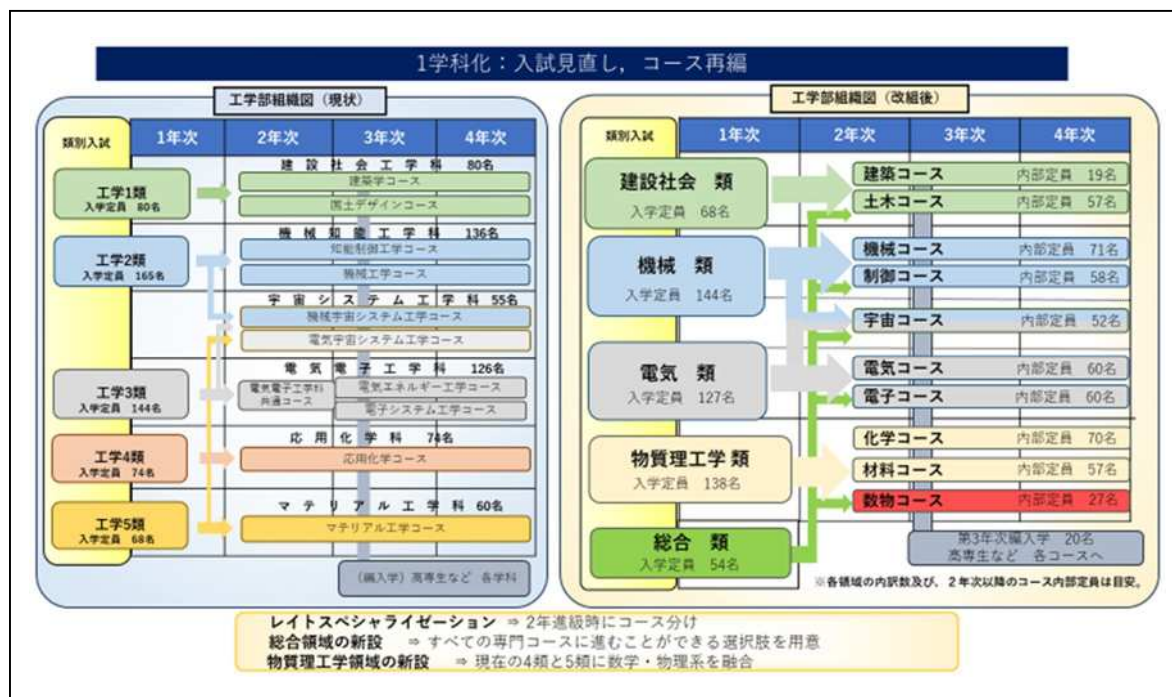
③ 態度・志向性

【技術者の態度・志向】【自律性】【チームワーク力】

進展の激しい高度情報社会において、数学力とデータ処理能力を裏打ちされた高度な論理的思考力を兼ね備え、研究遂行能力を修得している人材。

(定員配置の変更の概要)

数物コースを新設するため、入学定員を下図のように変更する。



既存の工学部は6学科体制であり、6学科には、学科の下にコースを配置し、10コースが存在する。今回の改組で、6学科を1学科に再編し、工学部工学科とする。その際、改組前と同様に類別入試をした後、コースへと配属することとし、入学定員の531名は変更しない。

変更点を入口と出口に分けて説明する。

まず、出口における大きな変更点は、高度な数学力・データ分析力を培い多様な工学分野で活躍できる人材を養成する**数物コース**を新設することである。その定員は全入学定員の5%とする。これによって、時代の変化によって多様な切り口で工学教育を実施していかなければならない環境の中で、他コースに比べて専門教育の量は少ないものの、高度情報社会のニーズに対応でき、数学・物理学をベースとする論理的思考力をみっちり叩き込まれた人材を輩出する。完全なる工学系人材からやや理学系に重心を移した立ち位置のコースとして捉えることができる。また、ロケットと人工衛星の両方を一環して工学教育を推進するために機械宇宙システム工学コースと電気宇宙システム工学コースを統合し、**宇宙コース**とする。また受験生に対する工学系の垣根を下げ親近感を与えるためにコース名称を漢字2文字に統一した。

次に、入口における大きな変更点は、18歳人口減少が加速化される状況と理工系人材がOECD加盟国水準を大きく下回っている状況の中で、理工系分野に進学する学生を増やす仕組みとして、レイトスペシャライゼーション推進のために入学時に専門分野を決定しない「**総合類**」を新設することである。総合類に入学した学生は、他の類の学生と同一の基礎教育科目を履修しながら、総合類独自のオムニバス入門科目と各コースが独自に用意する入門科目を履修し、1年間かけて専門分野を決定する。この制度の導入により、これまで以上に1年次の履修科目の統一化を図り、コース分けの時期は全コースにおいて2年進級時とする。次なる入口における変

更点は、数物コースの新設を受け、入口の類の設定を従来の工学 4 類（応用化学コースにつながる類）と工学 5 類（マテリアル工学コースにつながる類）を統合し、そこに数物コースに進むことを希望する学生のためのカテゴリーを合わせ、「物質理工学類」を新たに用意する。また、類の名称を数字による表記ではなく工学分野を含む表記にする。これにより、既存の 5 類（工学 1 類から工学 5 類）は類の数を変えずに、「建設社会類」「機械類」「電気類」「物質理工学類」「総合類」の 5 類体制となる。

上記以外の変更点として、これまで宇宙システム工学科の 2 コースには、「工学 2 類」と「工学 3 類」と「工学 5 類」から学生が進級していたが、数学・物理・化学の理数系科目を得意とする理学系寄りの学生の受け皿として「物質理工学類」を用意することになったことで、改組後に 2 コースが合併してできる宇宙コースには、「機械類」と「電気類」で入学した学生が進級する。しかし、宇宙コースには総合類から進級する学生もあり、学生の不利益にはならないと考える。

このような制度設計をしたことにより、工学部入学定員 531 名の内訳を上図のように変更した。まず、数物コースに工学部入学定員の 5%を配置することで、各コースの定員をこれまでのコース定員の 5%減とした。また、総合類の定員を工学部入学定員の 10%（54 名）とした。この 54 名は 2 年次に各コースに配分されることになるが、総合類以外の類の入学定員を制限する必要が出て来る。「物質理工学類」は「工学 4 類」と「工学 5 類」の合計の 97%である 138 名とするが、ここには「数物コース」による上乗せが入っている。他の「建設社会類」「機械類」「電気類」については、既存の「工学 1 類」「工学 2 類」「工学 3 類」に応じて、それぞれ概ね 87%の定員とした。

(2) 学生確保の見通しの調査結果

改組後の工学部が高等学校の生徒のニーズと合致していることとともに、改組後の工学部の定員充足の可能性を確認するため、本学部の学生募集活動（オープンキャンパス）に参加した高校生等を対象に改組案に対するアンケート調査を行い【資料1】、780名から回答を得ている。アンケートの実施にあたっては、改組構想について説明する資料を配布し、改組の概要と新しい工学部の特色を伝え、改組後の制度変更点、受験意向と入学意向などを尋ねた。

① 数物コースのニーズ

- ・【設問9】の高校卒業後に学びたい分野の回答においては、工学（応用数理）、理学（数学、物理、化学）、総合科学の合計人数が171名であり、工学（機械・制御）を学びたいと回答した人数の5割弱、工学（建築・土木）や工学（応用化学・材料）を学びたいと回答した人数の7割強の人数となったことから、数物コースの需要が一定数あることが推測される。

【設問9 高校卒業後、学びたいと考えている学問分野を選択してください。】

選択肢	回答数	回答率
工学（建築・土木）	232	17%
工学（機械・制御）	365	27%
工学（電気・電子）	301	22%
工学（応用化学・材料（マテリアル））	231	17%
工学（応用数理）	42	3%
理学（数学、物理、化学）	103	8%
総合科学	26	2%
その他	54	4%

- ・2年次進級時のコースに「数物コース」を設置することを問う、【設問11】についても「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した人数が675名であり、回答総数の約87%を占めていたことから、数物コースを選択する学生を一定数確保することは可能であると推測できる。

【設問11 2年次進級時のコース（専門分野）に、新たに「数物コース」を設定する準備をしていますが、どの程度魅力を感じますか。（データサイエンス分野などを含む様々な分野に適応可能な論理的思考力（数学力）に優れた人材を養成するコース）】

選択肢	回答数	回答率
とても魅力を感じる	283	36%
ある程度魅力を感じる	392	50%
あまり魅力を感じない	96	13%
魅力を感じない	9	1%

- ・【設問 12】の工学以外の分野、様々な専門分野を学べる学生向けプログラムについても肯定的にとらえる学生がほとんどであったことに加え、設問 7 で高校卒業後の進路を「未定」や「就職」と回答した学生も魅力があると回答していたことから、複数分野を受講可能なプログラムにも需要があることが確認できる。

【設問 12 工学以外の分野や様々な専門分野を広く学びたいと思う学生向けのプログラムを準備していますが、どの程度魅力を感じますか。(自身が選択する分野以外の分野、文理融合、留学生との協働作業、起業、グローバル人材養成など)】

選択肢	回答数	回答率
とても魅力を感じる	424	54%
ある程度魅力を感じる	308	40%
あまり魅力を感じない	41	5%
魅力を感じない	7	1%

このように数物コースの新設の意図については、高校生・保護者からは賛同を頂けていると考えるのが自然であり、学生確保の見通しに好材料となっている。

② 総合類のニーズ

- ・「来年度（高校 2 年生等）」または「2 年後（高校 1 年生等）」に受験時期を迎える回答者（486 名）【設問 1】のうち、「大学に進学」を考えている者（479 名）【設問 7】を抽出して、総合類の志願動向を調査・分析した。

【設問 1. 大学の受験時期を教えてください。】

選択肢	回答数	回答率
今年度（現在高校 3 年生等）	262	33.5%
来年度（現在高校 2 年生等）	395	50.6%
2 年後（現在高校 1 年生等）	91	11.7%
その他（保護者・教員など）	33	4.2%

【設問 7. 高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えているか選択してください。】

選択肢	回答数	回答率
大学に進学	479	98.6%
専門学校か大学	1	0.2%
専門学校に進学	1	0.2%
未定	5	1.0%

- ・当該対象者（479 名）のうち、総合類に「とても魅力を感じる」または「ある程度魅力を感じる」と回答した者は 454 名（約 95%）【設問 10】であり、進学後に専門分野を選択できる総合類に魅力を感じている者が多数を占めているといえる。

【設問 10. 入試分類に、新たに「総合類」を設定する準備をしていますが、どの程度魅力を感じます か。(工学を学ぶ意欲があり、入学後の学びを通じて 2 年次に進級するコース

（専門分野）の選択を志望する受験生向けの類】

選択肢	回答数	回答率
とても魅力を感じる	221	46.1%
ある程度魅力を感じる	233	48.6%
あまり魅力を感じない	22	4.6%
魅力を感じない	3	0.6%

- ・また、九州工業大学工学部工学科を「第1志望として受験したい」または「第2志望として受験したい」と回答した者は384名（約85%）【設問13】で、そのうち合格したら「入学したいと思う」と回答した者は305名（約80%）【設問14】であることから、総合類の募集人員（54名）に対して、十分な志願倍率により入学者を確保できることが見込まれる。

【設問13. 九州工業大学「工学部工学科（設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。】

選択肢	回答数	回答率
第一志望として受験したい	235	51.8%
第二志望として受験したい	149	32.8%
第三志望として受験したい	48	10.6%
受験したいと思わない	22	4.8%

【設問14. 13で受験したいを選択した方に質問です。九州工業大学「工学部工学科（設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか？】

選択肢	回答数	回答率
入学したいと思う	305	79.4%
志望順位が上位の志望校に不合格の場合に入学したいと思う	77	20.1%
入学したいと思わない	2	0.5%

このように総合類についても、新設の意図については、高校生等からは賛同を頂けていると考えるのが自然であり、学生確保の見通しに好材料となっている。

（3）中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向

令和2年度から令和5年度の福岡県及び全国の18歳人口の推移と、令和6年度から令和12年度までの18歳人口の予測数は【資料2】のとおりである。18歳人口は令和6年度に極小値になり翌年からは増加に転じるが、全国では令和9年度から再び減少傾向となり、令和12年度には令和6年度と比較して4.4%減少する。一方で、福岡県の18歳人口は令和11年度まではほぼ横ばいに推移し、令和12年度から減少に転じていき、令和12年度は令和6年度と比較して2.7%の増加となるが見込まれる。本学の都道府県別の入学者・受験者ともに最も多い県は福岡県であり、令和元年度から令和5年度までの入学者総数4,791名のうち福岡県の出身者は2,194名（45.8%）となっている。また、西日本を中心に広く全国から受験者を集めている。総合型選抜（総合I）が始まった令和3年度から令和6年度までの4年間の志願倍率の

推移は【表 1】で示すとおりである。人口減少に対応した変動は見られず、十分な志願者を確保している。今後は 18 歳人口の減少の影響は避けられないと考えられるが、依然として本学の工学部に対する志願があり、改組後も安定して学生を確保することが可能であると判断できる。

【表 1 九州工業大学・工学部の志願倍率状況】

学部	選抜区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
工 学 部	前期日程	2.3 (223)	2.3 (223)	2.1 (225)	2.5 (225)
	後期日程	5.4 (130)	5.6 (130)	6.0 (126)	5.8 (126)
	総合 I・II	3.0 (55)	2.5 (55)	2.5 (55)	2.7 (55)
	推薦 I・II	2.3 (123)	2.2 (123)	2.4 (125)	2.5 (125)

志願倍率：志願者数／募集定員

カッコ内は募集定員の合計数を示す

（４）同分野を有する競合校の状況

競合校における工学部系及び理学部系の前期日程の募集人員及び志願者数の変化は【表２】で示すとおりである。

工学部は平成 31 年以降募集人員に対して常に 2.1 倍を超える志願者を集めており、募集人員の総数について減少させる必要はないといえる。但し、後述の通り近年本学を志望する可能性のある西日本の理工系志願者層について、工学系はやや減少傾向にある一方で、情報系・理学系はやや増加傾向がある。例えば、本学内で比較すると前回の改組直前である平成 27～29 年度選抜の志願者に対して、直近 3 年（令和 4～6 年度）の志願者は工学部が 0.93 倍であったのに対して、情報工学部は 1.09 倍に増加している。期間内に募集人員の変更はあるが近隣の九州大学も同様に比較すると理学部は 1.11 倍に増加している一方で工学部は 0.86 倍、芸術工学部は 0.99 倍と工学系は減少傾向にある。中国地方まで広げてみても、岡山大学は理学部 1.21 倍に対して工学部（環境理工学部も含む）は 0.93 倍、広島大学では情報科学部が設置された直後の平成 30 年度～令和 2 年度と比較すると、理学部は 1.01 倍、工学部は 0.81 倍、情報科学部は 0.96 倍であった。これらのことから本学を志願する理工系の志願者層は理学系＞情報系＞工学系（情報系を除く）となっており、情報系を含む工学と理学（数学・物理）の融合領域となる数物コースはこれらの層の受け皿としても一定のニーズがあるといえる。また、総合類からも数物コースへ進級できることで理学部か工学部も含めて希望進路を決め切れていない受験生に対しての選択肢の提供につながることも期待される。

【表２ 競合校における工学部系及び理学部系の前期日程の募集人員及び志願者数の変化】

大学	学部	年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	H27-29の 総数 (A)	R4-6の 総数 (C)	C/A
九州工業大学	工学部	募集人員	246	246	246	239	233	233	223	223	225	225	738	673	0.91
		志願者数	527	581	552	605	616	546	523	507	468	570	1660	1545	0.93
	情報工学部	募集人員	207	209	209	236	236	236	230	230	230	230	625	690	1.10
		志願者数	544	502	501	593	710	514	600	575	581	533	1547	1689	1.09
九州大学	理学部	募集人員	182	182	187	197	197	197	197	197	197	197	551	591	1.07
		志願者数	416	421	466	475	529	488	544	431	517	499	1303	1447	1.11
	工学部・芸術工学部	募集人員	824	824	824	801	801	796	750	750	750	750	2472	2250	0.91
		志願者数	2007	2100	2006	1897	1885	1787	1808	1843	1836	1834	6113	5513	0.90
熊本大学	理学部	募集人員	150	150	150	150	150	150	150	150	150	140	450	440	0.98
		志願者数	355	289	335	321	351	299	339	240	261	317	979	818	0.84
	工学部	募集人員	344	344	333	333	335	335	335	335	335	314	1021	984	0.96
		志願者数	669	675	643	715	636	781	643	660	629	617	1987	1906	0.96
広島大学	理学部	募集人員	143	143	143	143	143	143	143	143	145	145	429	433	1.01
		志願者数	268	334	326	284	340	347	326	316	339	322	928	977	1.05
	工学部	募集人員	416	427	427	398	399	399	399	399	389	389	1270	1177	0.93
		志願者数	1080	950	1097	995	973	873	922	682	890	730	3127	2302	0.74
	情報科学部	募集人員	—	—	—	72	72	72	72	72	90	90	0	252	—
		志願者数	—	—	—	224	210	189	204	181	186	229	0	596	—
岡山大学	理学部	募集人員	112	112	112	114	114	114	114	116	116	116	336	348	1.04
		志願者数	295	235	189	255	247	321	265	281	265	327	719	873	1.21
	工学部・環境理工学部	募集人員	399	399	388	387	391	390	429	400	415	445	1186	1260	1.06
		志願者数	972	888	780	786	741	849	862	746	841	868	2640	2455	0.93

(5) 既設組織の定員充足の状況

過去5年間（令和2年度選抜～令和6年度選抜）の工学部全体の入学定員充足率は、【表3】で示すとおり1.00～1.05である。多くの志願者数を確保しており、工学部のいずれの分野においても、学生の需要は十分にあると考えられる。

編入学生についても過去5年間（令和2年度選抜～令和6年度選抜）の工学部全体の入学定員充足率は【表4】で示すとおり0.90～1.20である。令和4年度選抜のみ入学辞退の関係で0.90となったものの、20名の入学定員を充足できている。

また、収容定員充足率は【表5】で示すとおり1.03～1.07となっており、収容定員を充足できている。

【表3 九州工業大学・工学部の入学定員充足状況】

募集単位	選抜年度 区分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
工学1類	募集人員	80	80	80	80	80
	志願者数	341	314	284	311	336
	入学者数	80	81	80	85	85
	入学定員充足率	1.00	1.01	1.00	1.06	1.06
工学2類	募集人員	165	165	165	165	165
	志願者数	602	567	500	510	528
	入学者数	165	165	165	170	177
	入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.03	1.07
工学3類	募集人員	144	144	144	144	144
	志願者数	426	357	418	397	423
	入学者数	144	147	150	148	150
	入学定員充足率	1.00	1.02	1.04	1.02	1.04
工学4類	募集人員	74	74	74	74	74
	志願者数	210	207	219	227	244
	入学者数	74	74	75	78	74
	入学定員充足率	1.00	1.00	1.01	1.05	1.00
工学5類	募集人員	68	68	68	68	68
	志願者数	186	165	133	151	157
	入学者数	68	68	69	73	72
	入学定員充足率	1.00	1.00	1.01	1.07	1.05
工学部 (総合Ⅰ・第1段階選抜)	志願者数		95	92	87	79
工学部 全体	募集人員	531	531	531	531	531
	志願者数	1,765	1,705	1,646	1,683	1,767
	入学者数	531	535	539	554	558
	入学定員充足率	1.00	1.00	1.01	1.04	1.05

※ 総合型選抜Ⅰでは、出願時（第1段階選抜時）に志望類は選択せず、第1志望学部を選択させている。なお、総合型選抜Ⅰの志願者数は、各類の志願者数には含めていない。

※ 国費等留学生は、志願者数には含めず、入学者数には含む。

【表４ 九州工業大学・工学部の第３年次編入学定員充足状況】

募集単位	選抜年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
	区分					
建設社会工学科	募集人員	1	1	1	1	1
	志願者数	5	6	4	2	2
	入学者数	2	3	2	2	1
	入学定員充足率	2.00	3.00	2.00	2.00	1.00
機械知能工学科	募集人員	7	7	7	7	7
	志願者数	18	17	31	9	14
	入学者数	8	8	5	7	7
	入学定員充足率	1.14	1.14	0.71	1.00	1.00
宇宙システム工学科	募集人員	2	2	2	2	2
	志願者数	7	4	3	2	7
	入学者数	3	2	2	1	2
	入学定員充足率	1.50	1.00	1.00	0.50	1.00
電気電子工学科	募集人員	8	8	8	8	8
	志願者数	17	13	13	14	23
	入学者数	8	10	8	8	8
	入学定員充足率	1.00	1.25	1.00	1.00	1.00
応用化学科	募集人員	1	1	1	1	1
	志願者数	2	5	4	3	3
	入学者数	1	1	0	1	1
	入学定員充足率	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00
マテリアル工学科	募集人員	1	1	1	1	1
	志願者数	1	8	1	1	1
	入学者数	1	0	1	1	1
	入学定員充足率	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
工学部 全体	募集人員	20	20	20	20	20
	志願者数	50	53	56	31	50
	入学者数	23	24	18	20	20
	入学定員充足率	1.15	1.20	0.90	1.00	1.00

※２次募集を含む。

【表５ 九州工業大学・工学部の収容定員充足状況】

学部	区分	R2.5.1	R3.5.1	R4.5.1	R5.5.1	R6.5.1
工学部	在籍学生数	2,264	2,245	2,241	2,272	2,325
	入学定員	531	531	531	531	531
	第３年次編入学定員	20	20	20	20	20
	収容定員	2,164	2,164	2,164	2,164	2,164
	収容定員充足率	1.04	1.03	1.03	1.04	1.07

（６）学生納付金の金額設定の理由

学生納付金の額は、九州工業大学の他の学部（情報工学部）と同様に、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に定める標準額と同額に設定する。

2. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、大学案内や入学者選抜要項等の配布をはじめ、高校生向けの進学雑誌・一般広報誌等の紙媒体による広報活動の他、本学ホームページや外部機関の広報用サイト等の電子媒体を活用したPR活動など、積極的な情報提供を行う。

高等学校には直接訪問し、教育・研究内容や進路状況及び入学者選抜に関する情報を伝えるとともに、出前講義の実施により、理科・科学技術への知的好奇心や本学への進路意識の高揚を図っていく。その他、オープンキャンパスや全国から参加できるオンラインによる大学説明会及び個別相談会の開催、主要都市における進学説明会などへ参加し、広報活動を行うこととしている。

具体的には、次の取り組みを実施する。

① 進学説明会

民間企業等主催の高校生・保護者向けの進学説明会に参加する。

令和6年度は、横浜・名古屋・広島・下関・北九州・福岡・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄などの主要都市での開催分に参加した。本学のブースには合計500名の参加者があった。

② 入試説明会

本学主催の高校進路指導教員向けの入試説明会を開催する。

令和6年度は対面で本学戸畑キャンパスと福岡市の2会場で開催し、全国から参加可能なオンライン開催を3回実施した。合計で95校102名の参加者があった。

③ 高校訪問

高校へ出向き大学の概要および入学者選抜に関する説明を行う。

令和5年度は140校へ訪問した。

④ 九州地区国立大学合同説明会

九州地区国立大学合同の大学説明会と個別相談会に参加する。

令和6年度は福岡と鹿児島で開催し、本学の大学説明会に812名、個別相談ブースに163名の参加者があった。

⑤ 出前講義

小・中・高等学校へ出向き出前講義を行う。

令和5年度は139件の出前講義を実施した。

⑥ オープンキャンパス

各学科・研究室の紹介や個別相談のほか、入試説明会等を行う。

令和6年度は、情報工学部が7月13・14日、工学部が8月2・3日に実施し、全体で5,325名が参加した。

⑦ 大学見学

大学構内において、希望する高等学校に対して大学説明、施設・研究室見学、模擬授業等を実施する。

令和5年度の実施件数は21件、779名の参加者があった。

⑧ 予備校での入試説明会

予備校主催の予備校生及び予備校に通う高校生向けの入試説明会に参加する。

令和6年度は122名の参加者があった。

⑨ 高等専門学校等への訪問及び懇談会（説明会）参加

本学主催の第3年次編入学志願者等向けの大学説明会を開催する。

令和5年度は24校に対して全26回の訪問を実施した。

⑩ 夢ナビライブ

2,000校を超える高校生が参加する夢ナビライブ（オンライン開催）に参加する。

令和6年度は研究室訪問・講義動画11講義とコンテンツ配信70講義及び大学説明会2講義に参加し、各企画に、研究室訪問804名、講義動画1,630名、大学説明会187名が参加した。

3. 新設組織で養成する人材の社会的要請や人材需要の動向

「(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)」に記載のとおり、今回の改組においては、理工系分野に進学する学生を増やす仕組みとして、レイトスペシャライゼーション推進のために入学時に専門分野を決定しない「総合類」を新設するとともに、1学科化による定員の柔軟化に対応する。

また、高度な数学力・データ分析力を培い多様な工学分野で活躍する人材を養成する数物コースを新設する。これによって、時代の変化によって多様な切り口で工学教育を実施していかなければならない環境の中で、高度情報社会のニーズに対応でき、数学・物理学をベースとする論理的思考力を十分に有する工学人材を求めている様々な産業界への要望に応えることが可能となる。

(1) 社会的、地域的な人材需要の動向

「2021 年 第6期科学技術・イノベーション基本計画 閣議決定：Society 5.0 の実現に向けて」によると、下記のとおり述べられている。

- Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策：
 - ・サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出
ー宇宙システム、量子技術、半導体、スパコン
 - ・地球規模課題の克服に向けた社会変革とイノベーションの推進
ーカーボンニュートラルに向けた研究開発
 - ・レジリエントで安全・安心な社会の構築
ー脅威に対応するための重要技術の特定と研究開発
 - ・様々な社会課題を解決するための研究開発と総合知の活用
ーマテリアル、宇宙、環境エネルギー、量子技術

また、「2022 年 教育未来創造会議 第一次提言：我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」では、次のとおり述べられている。

- ・在りたい社会像
ー社会課題への対応、SDGs への貢献
- ・未来を支える社会像
ー好きなことを追及して高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定して、考えを深く掘り下げられる人材
ー多様な人とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題の解決を図っていく人材

「2018 年 経済産業省の大学連携推進室に関する調査：平成 30 年度 数理資本主義の時代 ～数学パワーが世界を変える～」では、次のとおり述べられている。

- ・Society 5.0 に応える人材を工学部の中で育てていく必要性
ーアルゴリズムの根幹は数学であり、AI の高度化には高度な数学が必要

これらの社会的、地域的な人材需要の動向により、本学部が設立以来養成している『「ものづくり」を基盤とした工学系分野において、豊かな教養、高度なデータ処理能力、技術者倫理及びコミュニケーション力を備え、科学技術の進歩に対応できる工学基礎力・専門技術力を有し、国際的に活躍できる専門技術者』へのニーズはますます高くなるとわれ、多様な課題へ挑戦する高度専門人材を、様々な成長分野に輩出していく必要があると考える。

（２）人材需要に関するアンケート調査

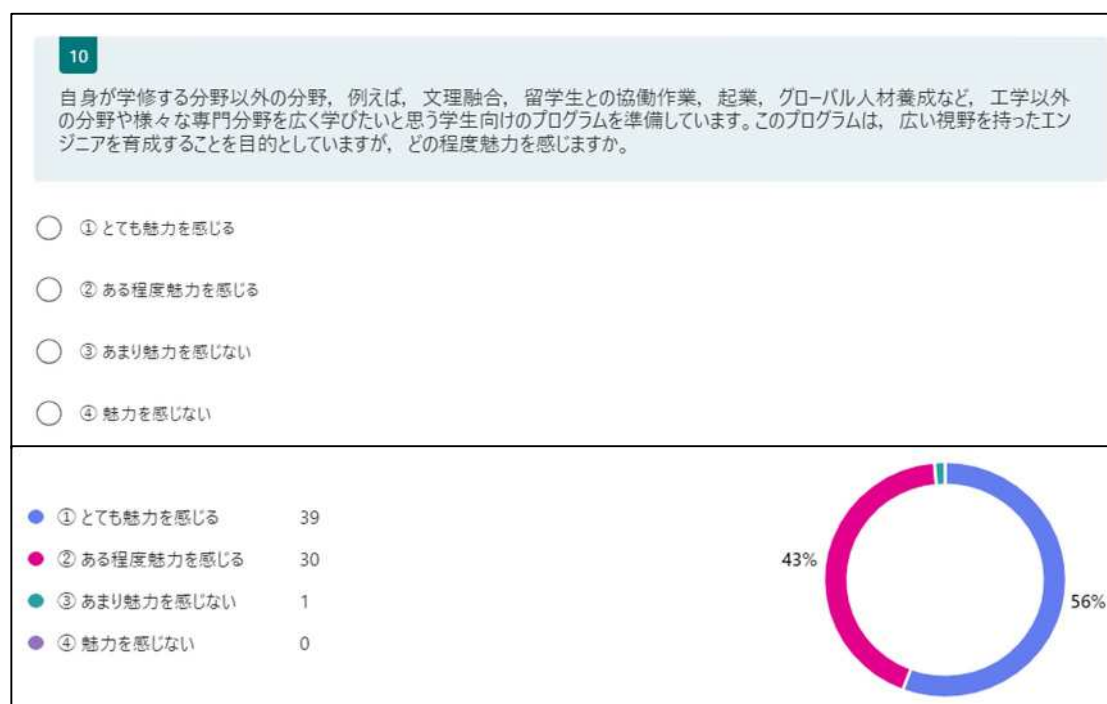
主に本学の卒業生を採用している企業を対象に、改組案に対する関心度等について、アンケート調査を行った【資料３】。その結果、以下のとおり 71 社から回答があった。



上記のアンケート[8]により、採用する側の企業でも、レイトスペシャライゼーション推進のために入学時に専門分野を決定しない「総合類」に魅力を感じており（「①とても魅力を感じる」または「②ある程度魅力を感じる」と回答した割合：97%）、理工系分野に進学する学生を増やす仕組みとして支持されていることがわかる。



上記のアンケート[9]により、多くの企業が、高度な数学力・データ分析力を培い多様な工学分野で活躍できる人材を養成する「数物コース」に魅力を感じており（「①とても魅力を感じる」または「②ある程度魅力を感じる」と回答した割合：98%）、新しいテクノロジーに柔軟に対応し、様々な工学分野に適応可能な論理的思考力（数学力）に優れた人材の養成について支持されていることがわかる。



上記のアンケート [10] により、多くの企業が、広い視野を持ったエンジニアを育成するための「工学以外の分野等を広く学べるプログラム」に魅力を感じており（「①とても魅力を感じる」または「②ある程度魅力を感じる」と回答した割合：99%）、文理融合的な学びの場の提供が求められていることが確認できる。



上記のアンケート 11) により、多くの企業が求める人材像と、改組後の工学部工学科の卒業生が適合していることが確認できており（「①とても適合する」または「②適合する」と回答した割合：99%）、本学部の改組を好意的に受け止めている。

【まとめ】

以上の結果から、Society 5.0 の実現や AI の高度化のために工学部工学科で実施するコース再編、入試・配属制度再編、教育方法再編が、多くの生徒や企業から支持を受けていること、また、近年の工学部の入試倍率などを鑑みると、学生は十分に確保できると判断する。

学生の確保の見通し等を記載した書類

(九州工業大学・工学部)

資料目次

資料 1	高校生等を対象とした改組案に対するアンケート調査.....	2
資料 2	年度別福岡県及び全国の 18 歳人口推移	7
資料 3	企業を対象とした改組案に対するアンケート調査.....	8

高校生等を対象とした改組案に対するアンケート調査

令和 8 年 4 月に予定している学部改組について学生確保の見通しを得るために、令和 6 年 8 月 2 日・3 日に開催された工学部オープンキャンパスにおいて、来場者に対して以下のとおりのレジュメを配布し、アンケート調査を実施した。

現高2生以下
対象

国立大学法人 九州工業大学

九州工業大学では **令和8年(2026年)4月に**
学部(工学部/情報工学部)および大学院(生命体工学研究科)の改組
を計画しています

工学部 (入学定員: 531名)

5類・6学科・10コースが
5類・1学科・10コースに変わります

工学系に進学したいが、専門分野を決め切れていない受験生向けの類。
入学後の学びを通じて進級するコース(専門分野)を選択できる。

※本計画は現在設置構想中のものです

アンケート
ご協力をお願い

進学に関する考え方や大学で学びたいこと等の意見を
収集し、九州工業大学の教育を向上させるための
参考資料として活用させていただきたいと考えています。
ぜひご協力をお願いします! [所要時間: 約5分]

九州工業大学 工学部の
改組に関するアンケート
(Microsoft Forms)

アンケートに回答
くださった方には
ノベルティを
プレゼント★
送付後の商品又は
スクリーンショットを
総合受付のスタッフへ
ご提出ください

NEW

旧工学1類	旧工学2類	旧工学3類	旧工学4類 旧工学5類	1 年 次 基 礎 科 目 (共 通)	建築コース	土木コース	機械コース	制御コース	宇宙コース	電気コース	電子コース	化学コース	材料コース	数物コース
総合類 [54名]	建設社会類 [68名]	機械類 [144名]	電気類 [127名]	物質・理工学類 [138名]	建築コース	土木コース	機械コース	制御コース	宇宙コース	電気コース	電子コース	化学コース	材料コース	数物コース

(旧学科・コース)

建設社会工学科
(建築学コース・国土デザインコース)

機械知能工学科
(機械工学コース・機械制御工学コース)

宇宙システム工学科
(機械宇宙システム工学コース・
電気宇宙システム工学コース)

電気電子工学科
(電気エネルギー工学コース・
電子システム工学コース)

応用化学科 (応用化学コース)

マテリアル工学科
(マテリアル工学コース)

NEW

急速に変化する時代の中で様々な工学分野で活躍することのできる
論理的思考力(数学力)に優れた人材を養成するコース。

九工大 改組

詳しくはWEBで!

検索

2024.8

※レジュメ記載の QR コードを読み取ることで以下のホームページに遷移する。

九州工業大学 工学部の改組に関するアンケート

九州工業大学では、令和8年（2026年）4月に工学部の改組を計画しています。

このアンケートは、進学に関する考え方や大学で学びたいことなどの意見を収集し、九州工業大学の教育を向上させるための参考資料として活用させていただくものです。

アンケートで得た情報は、上述の目的のための統計資料として活用し、個人を特定することは一切ありません。また、回答内容によって皆さんに不利益が生じることもありません。ぜひアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートに回答したことがある方は、回答不要です。

1. 最初にあなたのことについてお聞きます。

有効なアンケート回答数は780件であり、その内訳は高校3年生261名、高校2年生395名、高校1年生91名、保護者・教員33名であった。各設問と回答結果については以下のとおり。

1. 大学の受験時期を教えてください。

選択肢	回答数	回答率
今年度（現在高校3年生等）	261	33%
来年度（現在高校2年生等）	395	51%
2年後（現在高校1年生等）	91	12%
その他（保護者・教員など）	33	4%

2. 性別を教えてください。

選択肢	回答数	回答率
男性	531	68%
女性	237	30%
回答しない	12	2%

3. お住まいの都道府県を教えてください。

選択肢	回答数	回答率
福岡県	421	54%
大分県	48	6%
佐賀県	15	2%
長崎県	34	4%
熊本県	44	6%
宮崎県	31	4%
鹿児島県	31	4%
沖縄県	11	1%
山口県	38	5%
広島県	35	4%
岡山県	17	3%
兵庫県	3	1%
愛媛県	11	1%
その他	41	5%

4. あなたが所属する高校の学科を教えてください。

選択肢	回答数	回答率
普通科	680	87%
総合学科	13	2%
理数科	27	3%
工業	31	4%
情報	1	1%
その他	28	3%

5. あなたが所属している、または、進級を希望しているクラス・コースを教えてください。

選択肢	回答数	回答率
理系クラス(コース)	731	93%
文系クラス(コース)	4	0%
文理融合クラス(コース)	15	2%
未定	23	3%
その他	15	2%

※複数の回答を選択可能としたため、回答数の総数が有効回答数の総数と異なります。

6. 参加されているイベント名を教えてください。

または、下記のうち、参加したことがあるイベント名を教えてください。

選択肢	回答数	回答率
オープンキャンパス	768	77%
高校訪問※高校などでの説明会	49	5%
大学見学※九州工業大学での説明会	64	6%
企業主催の進学説明会	10	1%
九州地区国立大学合同説明会	11	1%
【オンライン】大学説明会/入学者選抜説明会	48	5%
【オンライン】個別受験相談会	15	2%
【オンライン】総合型選抜等志願者向けWS	28	3%
その他	1	0%

※WS・・・ワークショップ

※複数の回答を選択可能としたため、回答数の総数が有効回答数の総数と異なります。

7. 高校卒業後の進路について、現時点でどのように考えているか選択してください。

選択肢	回答数	回答率
大学に進学	762	98%
専門学校か大学	1	0%
専門学校に進学	1	0%
就職	1	0%
未定	10	1%
保護者	5	1%

8. 7 の設問で大学、短期大学に進学を希望と選択した方に質問です。
現時点であなたが進学を希望する大学は、以下のどれに当てはまりますか？

選択肢	回答数	回答率
国立	743	65%
公立	300	26%
私立	83	7%
対象外	17	2%
その他	1	0%

※複数の回答を選択可能としたため、回答数の総数が有効回答数の総数と異なります。

9. 高校卒業後、学びたいと考えている学問分野を選択してください。

選択肢	回答数	回答率
工学（建築・土木）	232	17%
工学（機械・制御）	365	27%
工学（電気・電子）	301	22%
工学（応用化学・材料（マテリアル））	231	17%
工学（応用数理）	42	3%
理学（数学、物理、化学）	103	8%
総合科学	26	2%
その他	54	4%

また、改組に係る設問に移る前には以下のとおり簡単な注釈を確認の後、回答に臨んでもらうこととした。

4. 九州工業大学「工学部工学科（設置構想中）」についてお聞きします。

令和8年（2026年）4月に、「入試分類：工学1～5類」「2年次進級：6学科（建設社会工学科／機械知能工学科／宇宙システム工学科／電気電子工学科／応用化学科／マテリアル工学科）」を、「総合類／建設社会類／機械類／電気類／物質・理工学類」「1学科（工学科）」にし、研究分野（コース）の再構築および教育プログラムの充実化を行うことを構想しています。

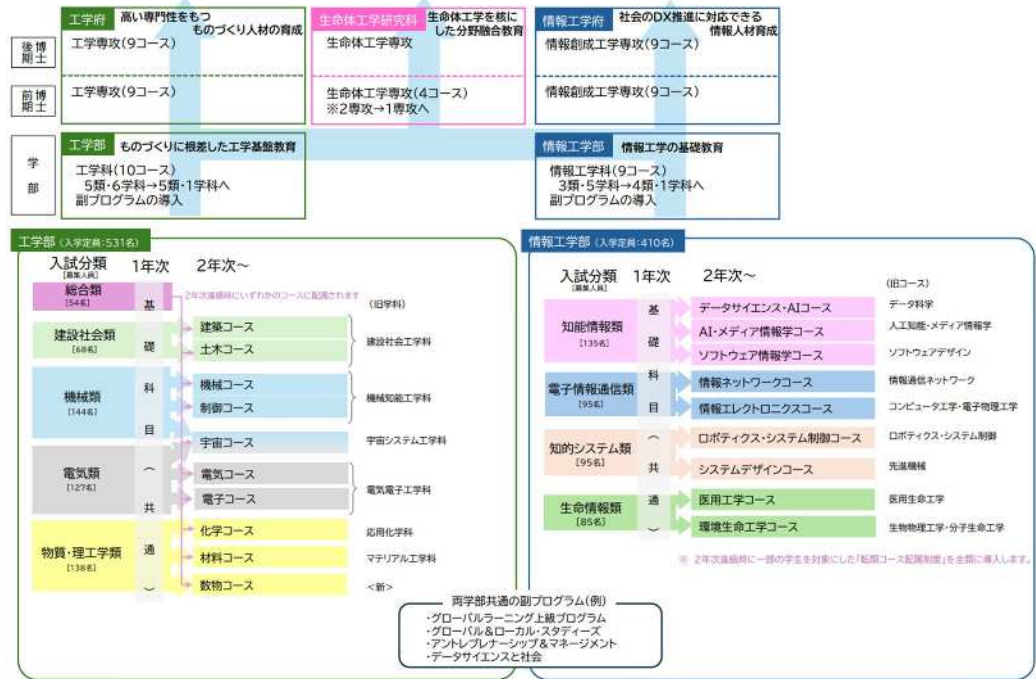
ここからは、九州工業大学「工学部」の改組に関する資料（※）を見てからお答えください。
（※）資料は配付されているもの、または、大学ホームページ（以下URL参照）をご覧ください。
<https://www.kyutech.ac.jp/whats-new/important/entry-10713.html>

九州工業大学「工学部工学科（設置構想中）」には、以下のような特色があります。
あなたはどの程度魅力を感じますか。

国立大学法人 九州工業大学 令和8年度改組の概要

Point ① 学部から大学院への接続性の強化と社会変革への対応のため、工学部・情報工学科をそれぞれ1学科にし、研究分野の再構築を図ります。
② 学生の多様な学びの確保と急速に変化する社会・産業界のニーズに応えるため、副プログラムを導入します。

※本計画は現在設置構想中のものです



10.入試分類に、新たに「総合類」を設定する準備をしていますが、どの程度魅力を感じますか。(工学を学ぶ意欲があり、入学後の学びを通じて2年次に進級するコース(専門分野)の選択を志望する受験生向けの類)

選択肢	回答数	回答率
とても魅力を感じる	399	51%
ある程度魅力を感じる	339	43%
あまり魅力を感じない	38	5%
魅力を感じない	4	1%

11.2年次進級時のコース(専門分野)に、新たに「数物コース」を設定する準備をしていますが、どの程度魅力を感じますか。(データサイエンス分野などを含む様々な分野に適応可能な論理的思考力(数学力)に優れた人材を養成するコース)

選択肢	回答数	回答率
とても魅力を感じる	283	36%
ある程度魅力を感じる	392	50%
あまり魅力を感じない	96	13%
魅力を感じない	9	1%

12.工学以外の分野や様々な専門分野を広く学びたいと思う学生向けのプログラムを準備していますが、どの程度魅力を感じますか。(自身が選択する分野以外の分野、文理融合、留学生との協働作業、起業、グローバル人材養成など)

選択肢	回答数	回答率
とても魅力を感じる	424	54%
ある程度魅力を感じる	308	40%
あまり魅力を感じない	41	5%
魅力を感じない	7	1%

13.九州工業大学「工学部工学科(設置構想中)」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近いものを一つ選んでください。

選択肢	回答数	回答率
第一志望として受験したい	399	51%
第二志望として受験したい	339	43%
第三志望として受験したい	38	5%
受験したいと思わない	4	1%

14.13で受験したいを選択した方に質問です。九州工業大学「工学部工学科(設置構想中)」に合格したら入学したいと思いますか?あなたの気持ちに近いものを一つ選んでください。

選択肢	回答数	回答率
入学したいと思う	566	73%
志望順位が上位の志望校に不合格の場合に入学したいと思う	172	22%
入学したいと思わない	4	0%
対象外	38	5%

年度別福岡県及び全国の 18 歳人口推移

1. 平成 30 年度～令和 4 年度福岡県及び全国の 18 歳人口推移

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
福岡県	男	24,610	23,481	23,684	23,009
	女	24,188	22,689	22,884	22,263
	計	48,798	46,170	46,568	45,272
全 国	男	593,000	575,000	568,000	546,000
	女	563,000	543,000	539,000	518,000
	計	1,157,000	1,118,000	1,107,000	1,064,000

出典：「人口推計」（総務省統計局），福岡県オープンデータサイト

その年の 10 月 1 日現在 18 歳の日本人人口（ただし、福岡県の令和 2 年度は 11 月 1 日現在の日本人人口）

2. 令和 6 年度～令和 12 年度福岡県及び全国の 18 歳人口見込み数

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	R12/R6 比 (%)
福岡県	男	22,839	23,461	23,848	23,632	23,920	24,299	23,349	102.2
	女	21,788	22,755	23,102	22,778	22,862	22,864	22,484	103.2
	計	44,627	46,216	46,950	46,410	46,782	47,163	45,833	102.7
全 国	男	544,000	549,000	552,000	542,000	539,000	534,000	519,000	95.4
	女	517,000	521,000	525,000	515,000	512,000	507,000	495,000	95.7
	計	1,061,000	1,070,000	1,076,000	1,057,000	1,051,000	1,041,000	1,014,000	95.6

17 歳人口 16 歳人口 15 歳人口 14 歳人口 13 歳人口 12 歳人口 11 歳人口

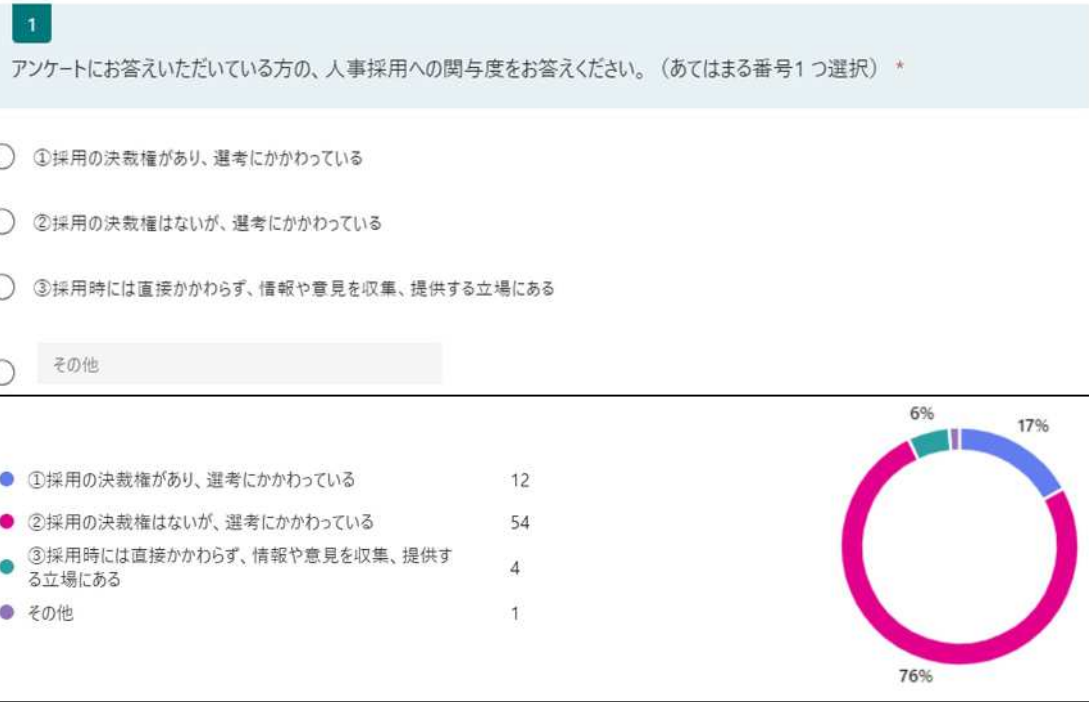
出典：「人口推計」（総務省統計局），福岡県オープンデータサイト

令和 5 年度 10 月 1 日現在を基準に令和 6 年度から令和 12 年度の 18 歳人口（日本人人口）の見込み数

企業を対象とした改組案に対するアンケート調査

九州工業大学の組織変更（改組）に関するアンケート

九州工業大学では、令和8年(2026年)4月に、工学部、情報工学部及び生命体工学研究科の組織変更（改組）を計画しています。組織変更（改組）に関する資料※をご一読の上、貴社・貴団体の関心度等について、以下のアンケート調査にご協力お願いいたします。なお、アンケート結果は情報の秘匿性を確保した上で、組織変更（改組）及び教育向上のための参考資料として活用させていただきます。また、組織変更（改組）の内容は変更の可能性があります、流布しないよう、ご留意いただけますと幸いです。※組織変更（改組）に関する資料は、工学部、情報工学部及び生命体工学研究科の質問の冒頭でお知らせしております。



3

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

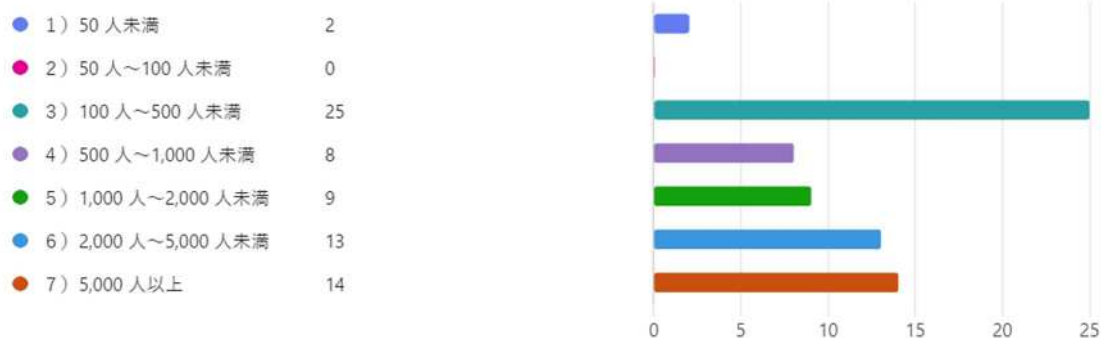
(2)【業種】(あてはまる番号1つを選択)：



4

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(3)【従業員数】(あてはまる番号1つを選択)：



5

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(4)【事業所数】:

6回答者 (8%) この質問に 回答しました。

北九州 札幌 2か所 工場
ショールーム 販売拠点 国内 横浜本社
多 名古屋 生産 開発 東京オフィス
神奈川 長岡 大阪 福岡オフィス 支社営業所含め11 栃木

6

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

(5)【ここ数年間の正社員の採用数】: 過去3 か年 平均 名程度

10回答者 (14%) この質問に 回答しました。

過去3ヶ年 過去3年200名 150名程度 過去3年間 昨年16名
数年 100名 過去3 か年 過去3 か年
採用数 過去3 か年 130名 85名
中途採用合計 90名 70名 過去3年平均 120名程度 3名程度

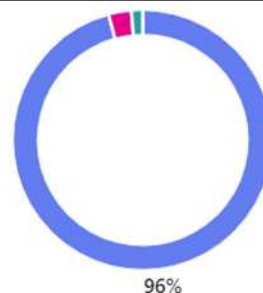
7

貴社・貴団体の概要についてお聞かせください。*

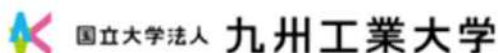
(6)【九州工業大学または九州工業大学大学院出身者の採用の有無】:

- ☐ 有
- ☐ 無
- ☐ 判らない

- 有 68
- 無 2
- 判らない 1



(工学部に関する質問)
ここからは、工学部に関するアンケートです。
以下の組織変更(改組)資料をご一読いただき、ご回答ください。



国立大学法人 九州工業大学

※設置計画は予定であり変更となる場合があります。

九州工業大学工学部 令和8年年度改組の概要

【改組のポイント】

- ① 学部から大学院への接続性の強化と社会変革への対応のため、工学部を1学科にし、研究分野の再構築を図ります。
- ② 学生の多様な学びの確保と急速に変化する社会・産業界のニーズに応えるため、さまざまなプログラムを準備します。

工学部工学科 (入学定員: 531名)

現行の5類・6学科・10コースが
1学科・5類(入試分類)・10コースに変わります



各分野の教育(養成したい人材像と就職先・出口)

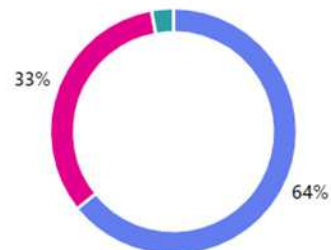
類	コース	養成したい人材像	就職先・出口
建設社会	建築	機能的で美しい建築・都市空間デザインの創造に携わるために、建築構造、建築設備、建築環境などの「ものづくり」に必要な専門知識と、建築計画、建築意匠、建築史などの「建築デザイン」に必要な専門知識を修得し、設計製図などを通じて「実践的なデザイン力」を修得した技術者	建築設計事務所、ゼネラルコントラクター、コンサルタント、公務員
	土木	安全で豊かな都市や地域環境の創造に携わるために、橋梁、道路、河川、空港、港湾、ライフラインなどの「ものづくり」に必要な専門知識と、都市計画、交通計画、国土デザインなどの「しくみづくり」に必要な専門知識を修得し、実験、卒業研究を通して課題を発見・解決する実践力を有する技術者	ゼネラルコントラクター、コンサルタント、メーカー、公務員
機械	機械	材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、生産工学を中心とする機械工学と、関連する分野の幅広い知識・技能を習得し、他の技術者と協働しながら産業のあらゆる分野で活躍することのできる機械技術者	製造業(産業機械・工作機械、精密機器、自動車、鉄道、建設機械、鉄道、船舶、家電、プラント、航空・宇宙機器など)を中軸に、エネルギー産業を含む主要産業全般
	制御	自動車、家電製品、ロボット、プラントなど様々な対象を人の望み通りに動かすための基礎知識となる計測・制御工学および情報技術など、制御に関する幅広い視野を持ち、社会の多様な分野で活躍できる計測制御技術者	電機系メーカー、自動車メーカー、重工業、鉄道車両・システム、プラントエンジニア、システムエンジニア、知能化生産設備、医療福祉、機器開発エンジニアなど、計測制御技術は様々な分野で期待されています
	宇宙	人工衛星やロケットなどの複雑なシステム全体を理解・俯瞰し、さまざまなニーズを解決するソリューションを提案・開発できる技術者	宇宙機器産業(ロケットメーカー、衛星メーカー、部品メーカー)、宇宙利用産業、複雑なシステム(自動車、航空機、鉄道、船舶、家電、社会インフラなど)を扱う会社全般、研究機関、JAXA
電気	電気	次世代のエネルギー、デバイスの基本を習得し、発展し続ける科学技術の進歩に十分対応でき、国際社会の中でグローバルな目を持ってリードできる技術者	電力、半導体、重工、鉄道、自動車、電機、化学、社会インフラ
	電子	次世代の電子システム化技術、デバイスの基本を習得し、発展し続ける科学技術の進歩に十分対応でき、国際社会の中でグローバルな目を持ってリードできる技術者	通信、IT、電機、自動車、機器、電力、半導体、重工、鉄道、電子材料、化学
物質理工学	化学	化学の高度な知識、先端技術、深い洞察にもとづいて、新素材を開発し、人類の幸福と社会の発展に貢献する「化学を基盤とする『技術に堪能なる土壌』」	化学、半導体、食品、製薬など広義の素材産業で材料開発を担う技術者、機械・自動車・電気メカ素材部門の技術者、製造プラント技術者
	材料	材料の構造と性質を解明し、新しい材料を設計、製造して応用展開するとともに、資源、リサイクル、環境・エネルギー問題にも取り組むことができる人物	鉄鋼、非鉄金属、半導体、セラミックス、自動車、造船、電機、電子部品機器、機械、金属製品、運輸、印刷、建設、検査
	数物	数学、物理学、データ解析に関する深い素養を身に付け、様々な現象の背後に潜む工学的問題の本質を独力で解析することのできる技術者	半導体、電機、自動車、材料、銀行、証券会社、保険会社、シンクタンク、システムエンジニア、データアナリスト、コンサルタント

8

工学を学ぶ意欲はあるが専門分野を決め切れていない受験生に対し、入学後の学びを通じて2年次に専門分野を選択できる入学選抜類として、新たに「総合類」(入試分類)を設定する準備をしています。この入試分類の設置の意図は、工学系への進学を躊躇している受験生を工学系に引き込むことにあります。このように、進学後に自身の専門分野を選択(決定)する取り組みについて、どの程度魅力を感じますか。

- ☐ ① とても魅力を感じる
- ☐ ② ある程度魅力を感じる
- ☐ ③ あまり魅力を感じない
- ☐ ④ 魅力を感じない

● ① とても魅力を感じる	45
● ② ある程度魅力を感じる	23
● ③ あまり魅力を感じない	2
● ④ 魅力を感じない	0



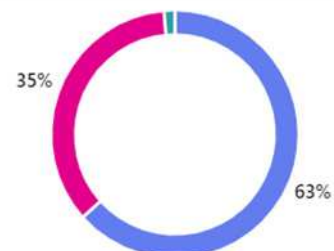
9

急速に変化する時代の中で様々な工学分野で活躍できるように、論理的思考力(数学力)に優れた人材を養成するコースとして、新たに「数物コース」(2年次進級時にコース(専門分野)を選択)を設定する準備をしています。

このコースでは、すべての事象を、数式を用いて論理的に理解することを徹底するカリキュラムを用意し、さらにデータサイエンス的側面からも最先端の数学・物理の研究に取り組みます。また、機械・電気・材料といった専門分野の基本的な内容も学習してもらい、コミュニケーション能力を養うためにインターンシップにも参加してもらいます。このように今後の新しいテクノロジーに柔軟に対応し、様々な工学分野に適応可能な論理的思考力(数学力)に優れた人材を養成します。どの程度魅力を感じますか。

- ☐ ① とても魅力を感じる
- ☐ ② ある程度魅力を感じる
- ☐ ③ あまり魅力を感じない
- ☐ ④ 魅力を感じない

● ① とても魅力を感じる	45
● ② ある程度魅力を感じる	25
● ③ あまり魅力を感じない	1
● ④ 魅力を感じない	0



10

自身が学修する分野以外の分野、例えば、文理融合、留学生との協働作業、起業、グローバル人材養成など、工学以外の分野や様々な専門分野を広く学びたいと思う学生向けのプログラムを準備しています。このプログラムは、広い視野を持ったエンジニアを育成することを目的としていますが、どの程度魅力を感じますか。

- ☐ ① とても魅力を感じる
- ☐ ② ある程度魅力を感じる
- ☐ ③ あまり魅力を感じない
- ☐ ④ 魅力を感じない

● ① とても魅力を感じる	39
● ② ある程度魅力を感じる	30
● ③ あまり魅力を感じない	1
● ④ 魅力を感じない	0

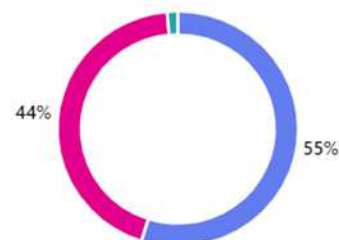


11

以上のように、総合類、数物コースを新設すると共に、新たな教育プログラムを加える、九州工業大学「工学部工学科（設置構想中）」を卒業した学生は、貴社・貴団体が求める人材像に適合すると思われますか？

- ☐ ① とても適合する
- ☐ ② 適合する
- ☐ ③ あまり適合しない
- ☐ ④ 適合しない

● ① とても適合する	39
● ② 適合する	31
● ③ あまり適合しない	1
● ④ 適合しない	0



12

その他、工学部の組織変更（改組）について、ご意見、コメントなどありましたらお書きください。（例：○○のような人材を育成してほしい。○○の研究を推進してほしい。等）

7回答者 (33%) この質問に 回答しました。

